

入社動機「企業イメージよい」が初の1位。 「転職」「独立」志望高まる。

当社では例年、3月から4月にかけて県内企業の新入社員を対象に意識調査を実施している。今年
は587名から有効回答を得た。2004年の調査以来、「企業イメージがよい」が初めて入社動機のトッ
プとなった。また、新入社員の5割以上が、就職した企業に「定年まで勤めたい」と回答するなど安
定志向は根強いものの、約3割は転職・独立も選択肢に入れており、増加する傾向にある。

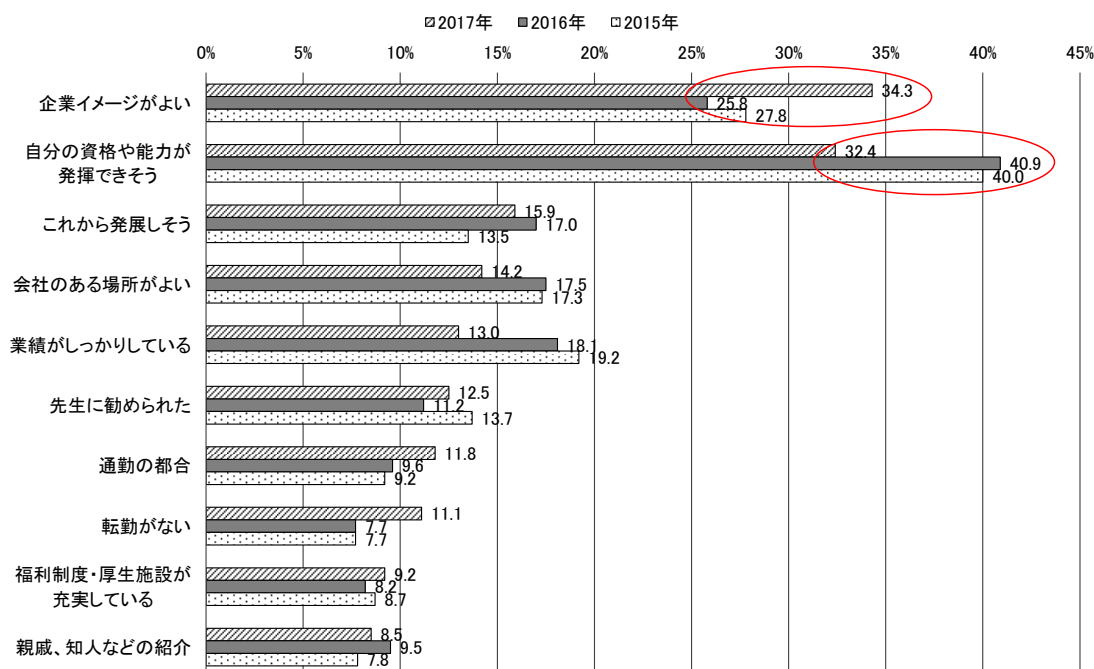
- ◇調査名：「新入社員意識調査」
- ◇調査時期：3月28日(火)～4月14日(金)
- ◇調査対象：当社開催の新入社員研修に参加した新入社員
- ◇有効回答数：587名 <男性311人(53.0%)、女性276人(47.0%)>

■入社動機は「企業イメージがよい」が初めて最多に

『入社を決めた主な動機』（複数回答）は、「企業イメージがよい」（34.3%）が最も多く、前年比
+8.5ポイントと大きく増加。2004年に現在の形式で調査を行うようになって以降、13年連続トッ
プだった「自分の資格や能力が発揮できそう」（32.4%、前年比-8.5ポイント）を初めて逆転した。

男女別で見ると、男性は「企業イメージがよい」（33.9%）が最も多くなり初めて1位に、次いで
「自分の資格や能力が発揮できそう」（29.9%）は初めて3割を切った。女性は僅差で「自分の資格や
能力が発揮できそう」（35.0%）が1位となり、次いで「企業イメージがよい」（34.7%）となった。

図1 入社を決めた主な動機 上位10項目（複数回答）



■自信を持てるのは「協調性」「意欲・やる気」「責任感」

『社会人として必要なもののうち、あなたが自信を持てるもの』（複数回答）は、「協調性」（31.4%）が最も多く、06年（30.1%）以来、11年ぶりに3割を超えた。女性が昨年の28.0%から11.2ポイント増加し、全体を押し上げた。次いで「意欲・やる気」（25.0%）、「責任感」（23.1%）と続いた。

男女別では、男性は「意欲・やる気」（27.4%）が最も多く、次いで「忍耐力」（25.1%）、「協調性」（24.4%）。女性は「協調性」（39.2%）、「責任感」（26.0%）、「社交性」（23.4%）の順となった。

図2-1 あなたが自信を持てるもの 上位10項目（複数回答）

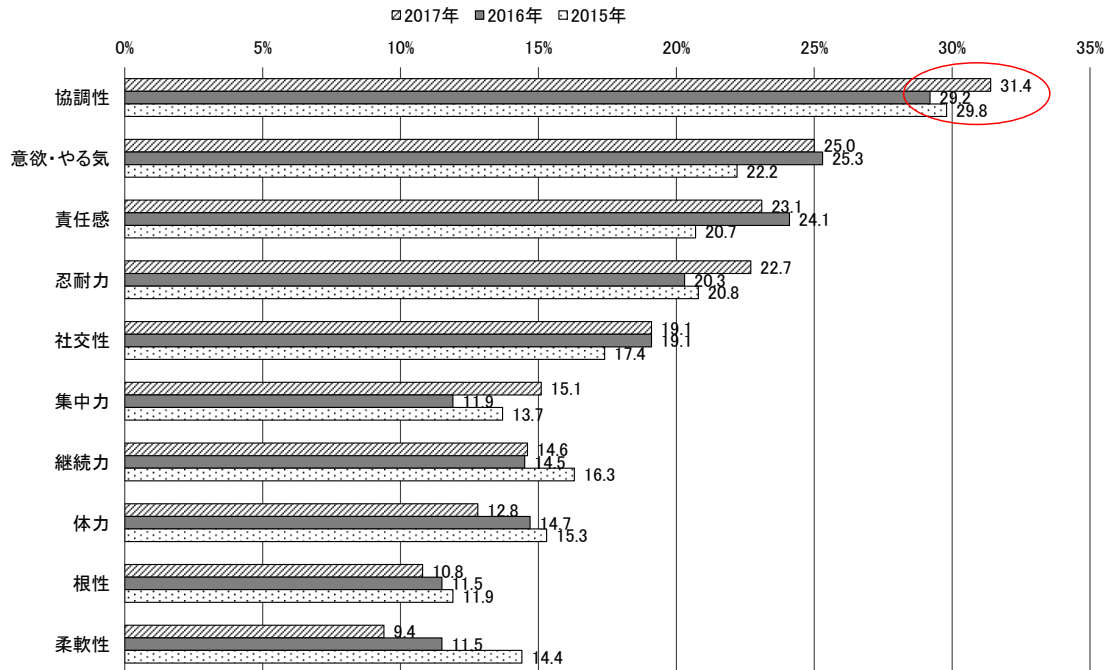
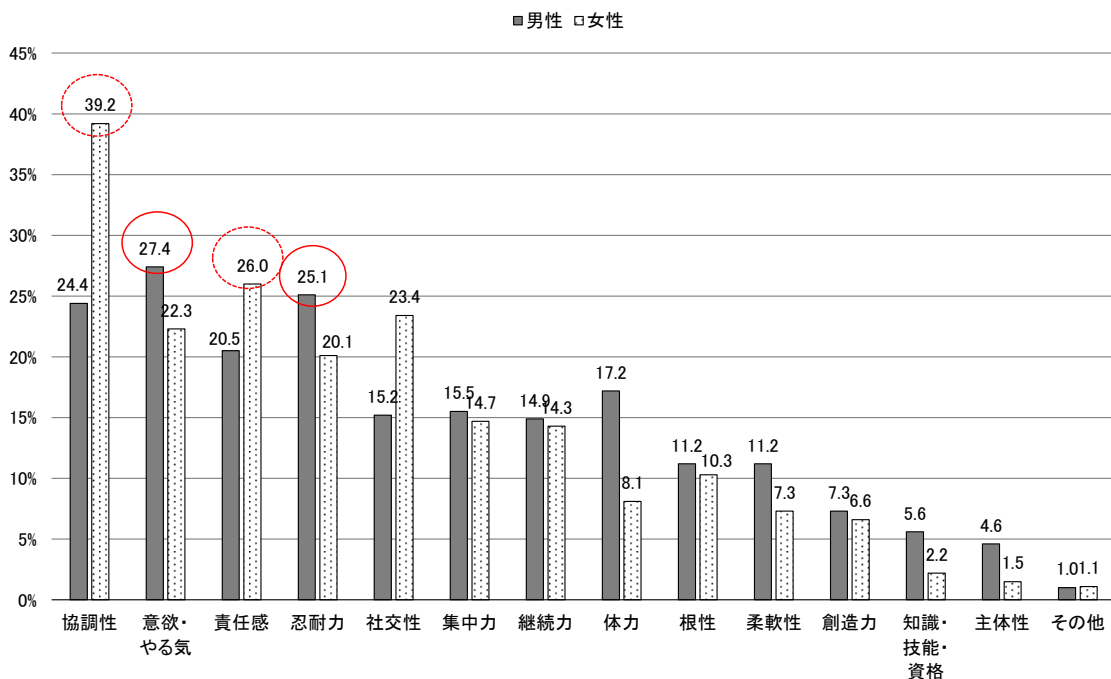
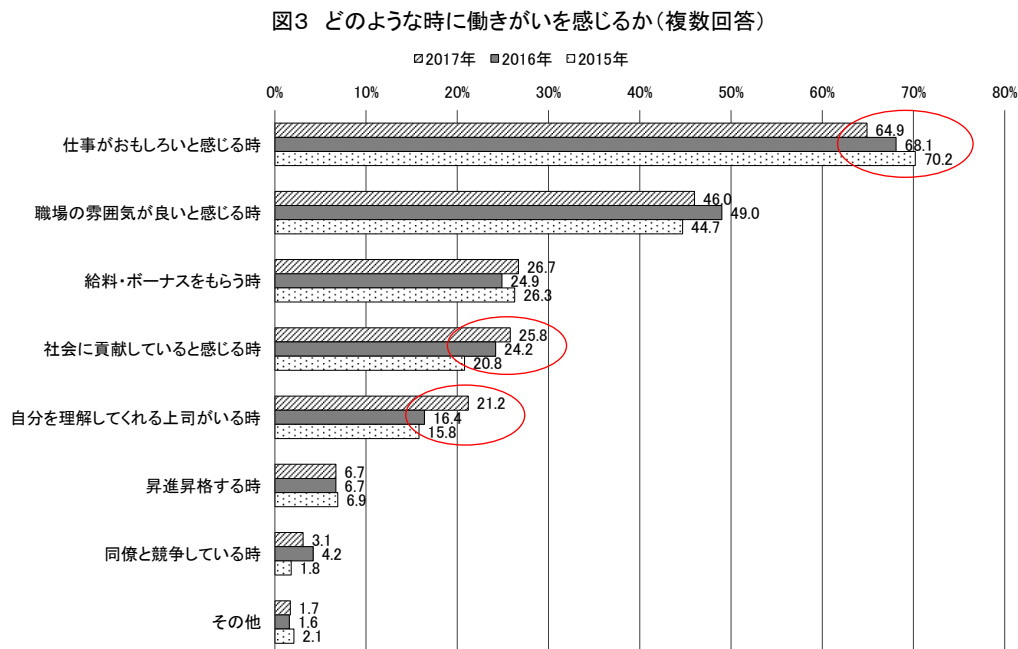


図2-2 あなたが自信を持てるもの（複数回答）[男女別]



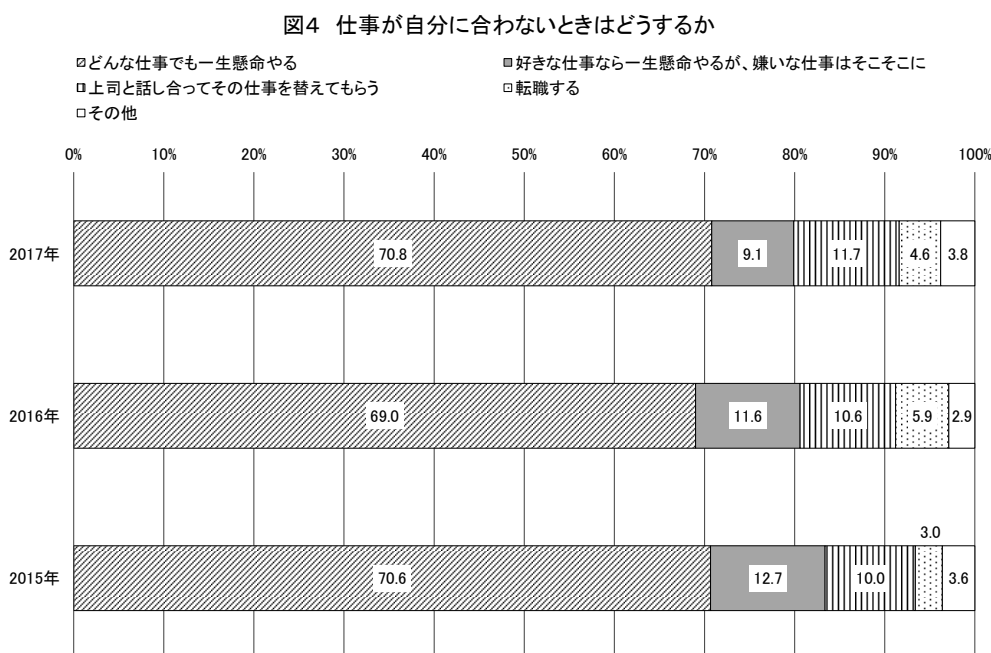
■働きたいを感じるのは「仕事がおもしろいと感じる時」

『どのような時に働きたいを感じるか』（複数回答）は、「仕事がおもしろいと感じる時」（64.9%）が最も多くなったものの、前年比-3.2ポイントと2年連続で減少した。次いで「職場の雰囲気が良いと感じる時」（46.0%）、「給料・ボーナスをもらう時」（26.7%）が続いた。「社会に貢献していると感じる時」（25.8%）、「自分を理解してくれる上司がいる時」（21.2%）は、いずれも2年連続で増加した。



■「どんな仕事も一生懸命に」が7割

『仕事が自分に合わないときはどうするか』は、例年どおり「どんな仕事でも一生懸命やる」（70.8%）が最も多くなった。「上司と話し合ってその仕事を替えてもらう」（11.7%）は前年比+1.1ポイントと、増加傾向にある。「転職する」（4.6%）はやや減少した。

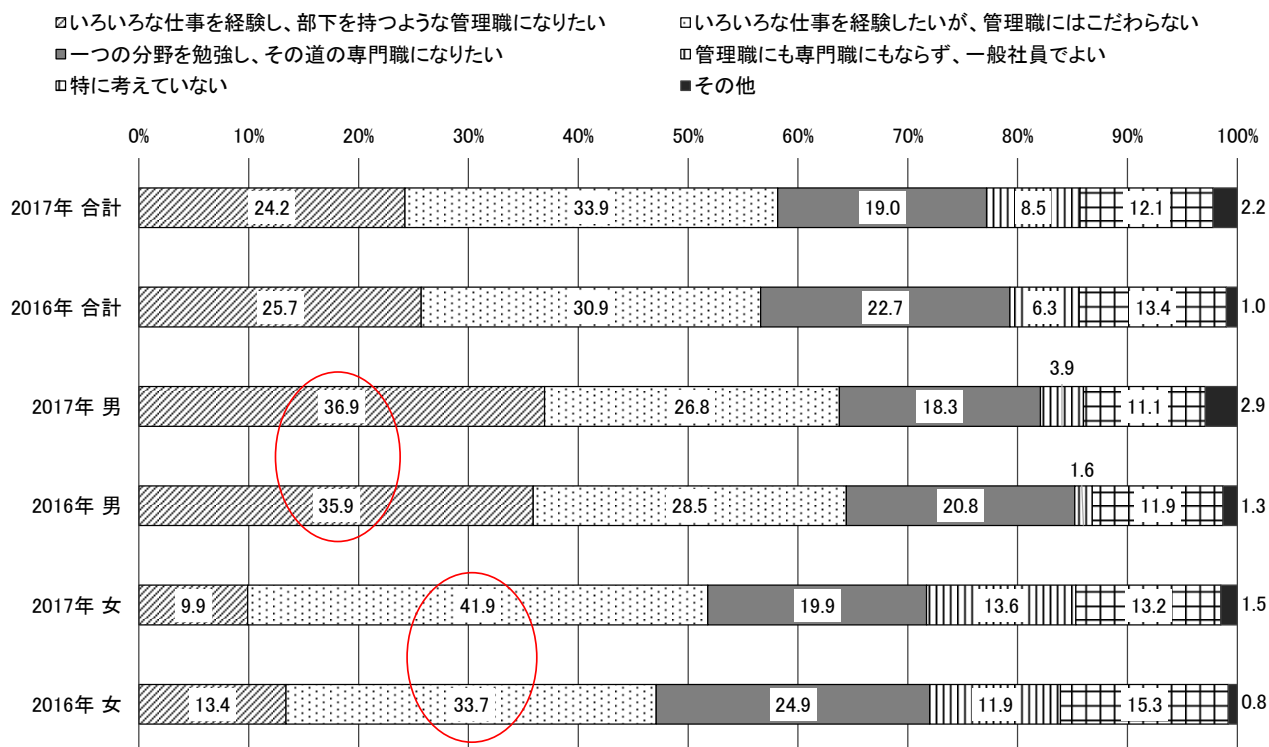


■「管理職にこだわらない」が最多で、6年ぶりに増加

『社会人としてどのような道に進みたいか』は、「いろいろな仕事を体験したいが、管理職にはこだわらない」（33.9%）が最も多く、前年比+3.0ポイントと6年ぶりに増加した。次いで「いろいろな仕事を体験し、部下を持つような管理職になりたい」（24.2%）、「一つの分野を勉強し、その道の専門職になりたい」（19.0%）が続いた。専門職志望は3年ぶりに減少し、04年以来、初めて2割を下回った。

男性は「管理職になりたい」（36.9%）が最多。女性は「管理職にはこだわらない」（41.9%）が最も多く、5年ぶりに増加した。また「専門職になりたい」（19.9%）が2番目に多く、7年連続で男性の割合（18.3%）を上回ったものの、初めて2割を下回った。

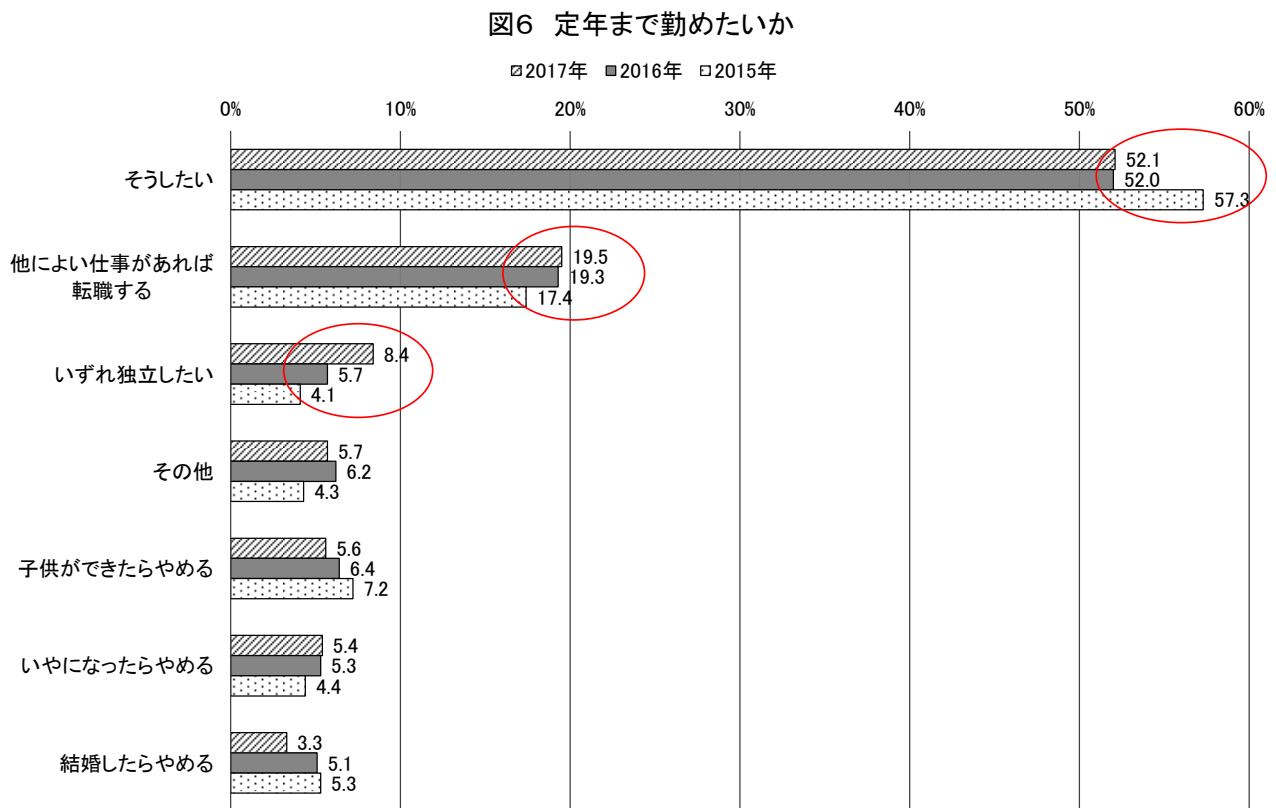
図5 社会人としてどのような道に進みたいか



■ 「よい仕事があれば転職」「いずれ独立」は増加傾向

『定年まで勤めたいか』は、「そうしたい」(52.1%)が最も多く、5年ぶりに減少した昨年(52.0%)から横ばい。一方「他によい仕事があれば転職する」(19.5%)が4年連続で増加、「いずれ独立したい」(8.4%)も2年連続で増加した。安定志向は根強いものの、転職・独立志望は約3割と、高まる傾向にある。

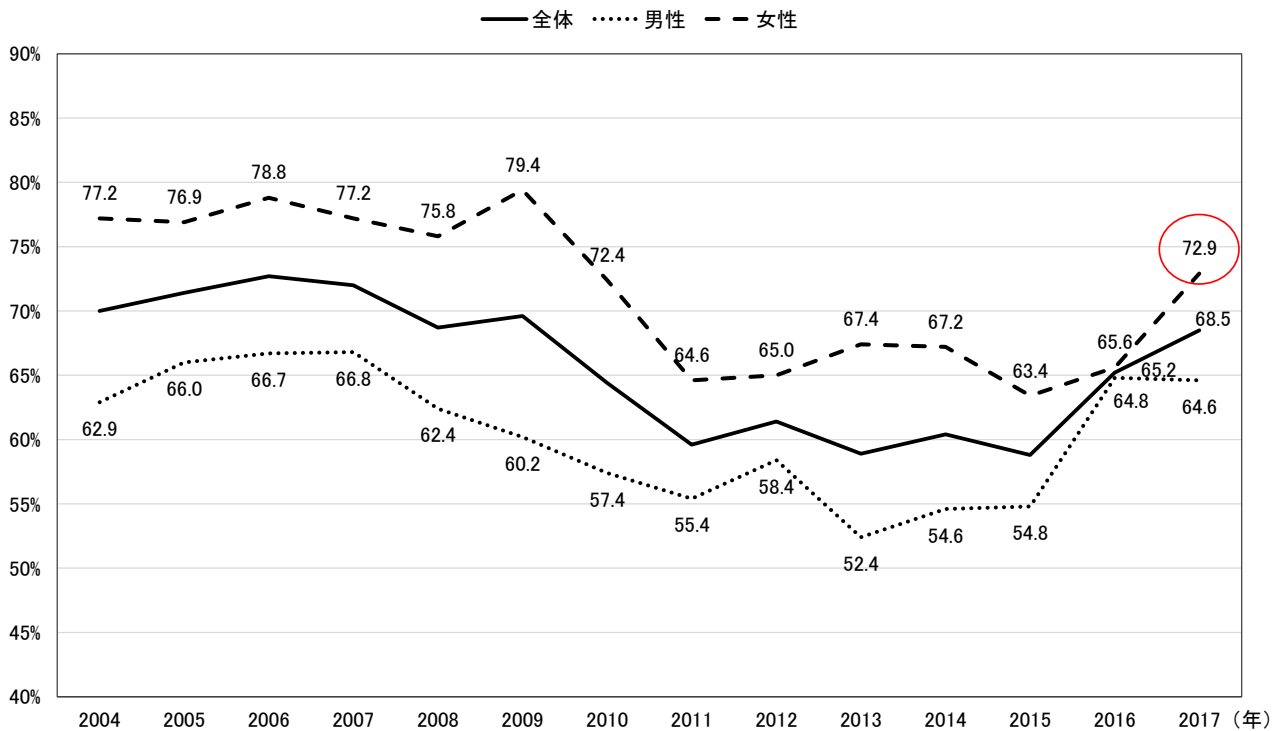
女性は「結婚したらやめる」(7.0%)が前年比-3.9ポイントと2年連続で減少し、「子供ができたらやめる」(11.9%)は5年連続で減少した。どちらも04年以降で最低となった。



■ 「家庭・生活」重視増加。女性は7割超える

『会社・仕事』と『家庭・生活』のどちらを重視するか』は、「家庭・生活」重視（どちらかというを含む）が68.5%と昨年より3.3ポイント増加。特に女性は72.9%と昨年から+7.3ポイントと大きく増加し、10年以來7年ぶりに7割を超えた。

図7 『「家庭・生活」を重視』する割合の推移(男女別)

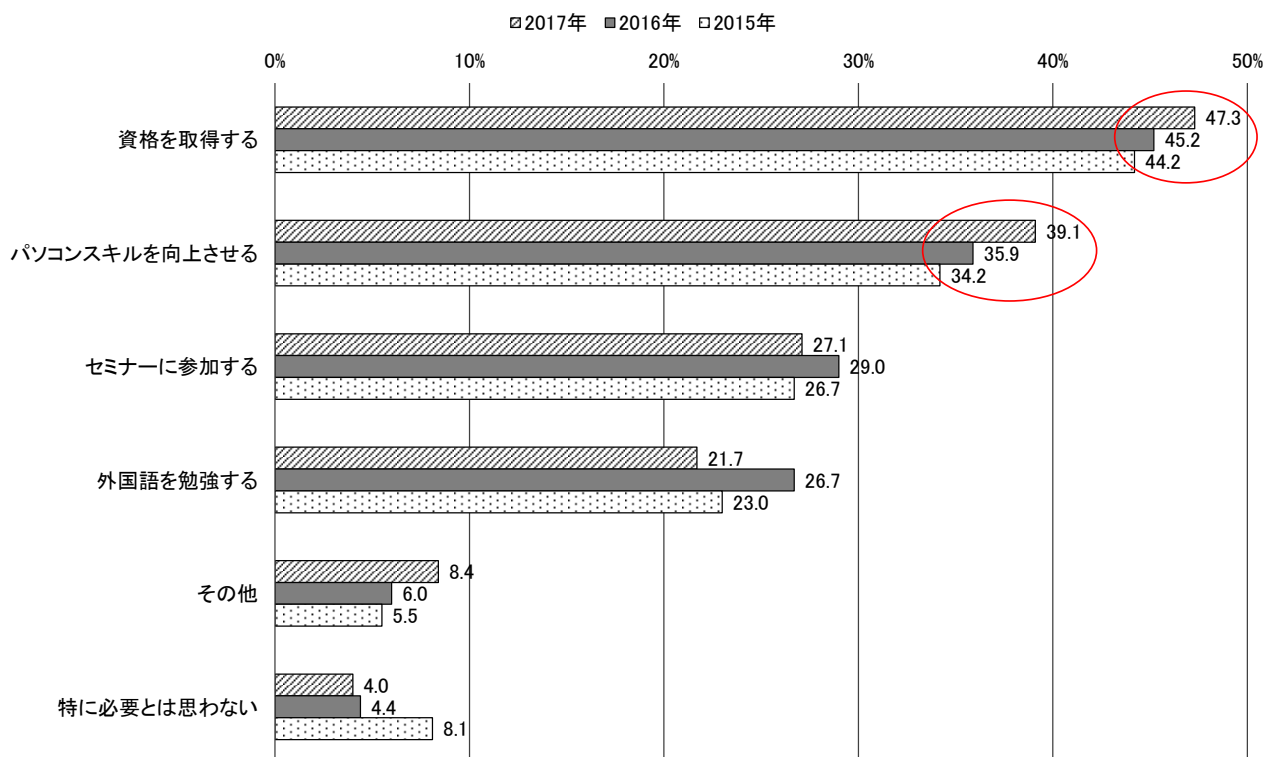


※割合は『「家庭・生活」を重視』『どちらかというと「家庭・生活」を重視』の合計

■「資格取得」を目指す約半数

『自分自身の技能や能力アップのために、どのような勉強が必要か』（複数回答）は、「資格を取得する」（47.3%）が最も多く、2年連続で増加した。次いで「パソコンスキルを向上させる」（39.1%）で、4年連続で増加している。「資格を取得する」では、建築士（一級・二級）、簿記、施工管理技士、社会福祉士等、業種によって具体的な資格名の回答が多くあった。また「外国語を勉強する」で具体的記述があったのは「英語」が93人で最も多く、次いで「中国語」15人、「ドイツ語」2人、「フランス語」「イタリア語」「タイ語」各1人となった。

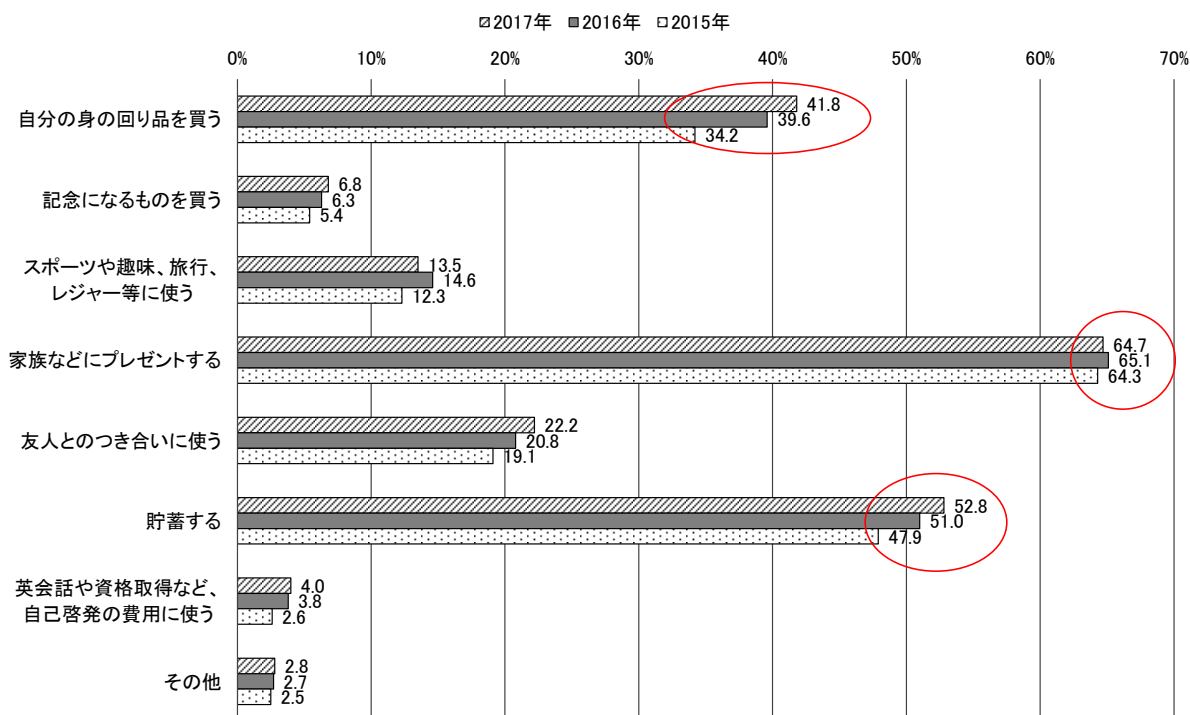
図8 能力アップのために必要だと思う勉強（複数回答）



■初めての給料は「家族へのプレゼント」「貯蓄」

『初めての給料の使いみち』（複数回答）は、「家族などにプレゼントする」（64.7%）が最も多く、次いで「貯蓄する」（52.8%）、「自分の身の回り品を買う」（41.8%）となった。「自分の身の回り品を買う」は2年連続で増加、「貯蓄する」と4位の「友人とのつき合いに使う」も3年連続で増加した。家族への感謝を形にしつつ、自分のための貯金や消費に使おうという気持ちも強まっているようだ。

図9 初任給の使いみち(複数回答)



■理想の上司は、男性：松岡修造さん、女性：天海祐希さん

『理想とする上司像を有名人に例えると』に対して、男性上司は、元プロテニス選手の松岡修造さんが40人で、2年連続の1位となった。女性上司は女優の天海祐希さんが73人で8年連続の1位。

理由は、松岡修造さんは「厳しく指導してもらえそう」（17人）、「面倒見がよく、何でも相談できそう」（16人）、「率先して手本を見せてくれそう」（15人）の順となり、天海祐希さんは、「頼りになりそう」（35人）、「面倒見がよく、何でも相談できそう」（31人）、「仕事ができそう」（30人）となった。

表 理想とする上司像(2017年)

男性の上司	回答数(人)	順位	女性の上司	回答数(人)
松岡 修造	40	1	天海 祐希	73
イチロー	36	2	水ト 麻美	38
明石家さんま	17	3	吉田 沙保里	16
内村 光良	12	4	真矢 ミキ	11
坂上 忍	12		篠原 涼子	10
櫻井 翔	12			

※男女それぞれ1名をフリーアンサーで回答

以上